

みずほCustomer Desk Report 2023/07/12号 (As of 2023/07/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	141.48
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	141.31	1.1006	155.53	1.2861	0.6678
SYD-NY High	141.45	1.1027	155.65	1.2933	0.6695
SYD-NY Low	140.18	1.0977	154.20	1.2858	0.6652
NY 5:00 PM	140.38	1.1010	154.46	1.2931	0.6687

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	34,261.42	317.02	日本2年債	▲0.0400%
NASDAQ	13,760.70	75.22	日本10年債	▲0.0100%
S&P	4,439.26	29.73	米国2年債	4.8864%
日経平均	32,203.57	13.84	米国5年債	4.2383%
TOPIX	2,236.40	▲ 6.93	米国10年債	3.9770%
シカゴ日経先物	32,350.00	30.00	独10年債	2.6475%
ロンドンFT	7,282.52	8.73	英10年債	4.6605%
DAX	15,790.34	117.18	豪10年債	4.1950%
ハンセン指数	18,659.83	180.11	USDJPY 1M Vol	11.29%
上海総合	3,221.37	17.67	USDJPY 3M Vol	10.41%
NY金	1,937.10	6.10	USDJPY 6M Vol	10.06%
WTI	74.83	1.84	USDJPY 1M 25RR	▲1.90%
CRB指数	267.60	3.21	EURJPY 3M Vol	10.16%
ドルインデックス	101.73	▲ 0.24	EURJPY 6M Vol	9.96%

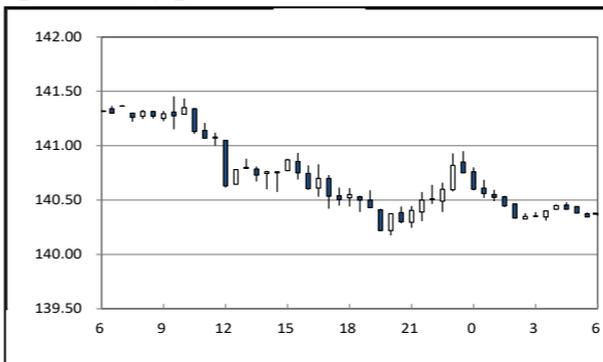
【昨日の指標等】

Date	Time	独	Event	結果	予想
7月11日	15:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.3%/6.4%	0.3%/6.4%
	18:00	独	ZEW景気期待指数	7月 -14.7	-10.6
	18:00	独	ZEW調査現状指数	7月 -59.5	-62.0
	18:00	欧	ZEW景気期待指数	7月 -12.2	-

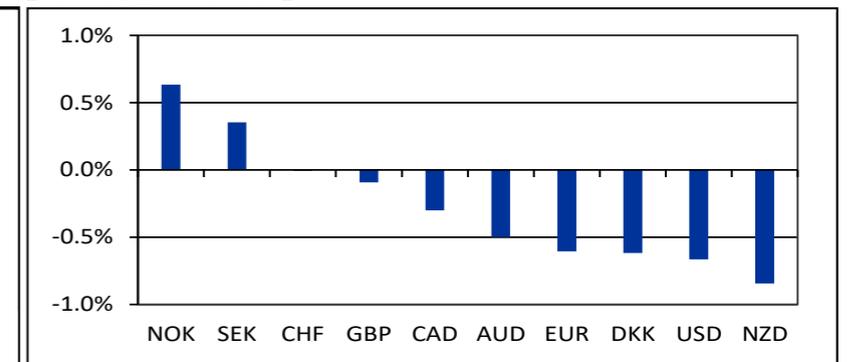
【本日の予定】

Date	Time	豪	Event	予想	前回
7月12日	12:04	豪	ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
	21:30	米	パーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	6月 0.3%/3.1%	0.1%/4.0%
	21:30	米	コアCPI(前月比/前年比)	6月 0.3%/5.0%	0.4%/5.3%
	22:45	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
	22:45	欧	レーン・カナダ中銀副総裁 講演	-	-
	23:00	加	カナダ銀行翌日物貸出金利	12-Jul 5.00%	4.75%
7月13日	02:00	米	ポストティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	03:00	米	ベージュブック公表	-	-
	05:00	米	マスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.00-141.00	1.1000-1.1050	152.50-156.00

【マーケット・インプレッション】

米CPI発表が本日に控える中、昨日はドル売りの流れが継続。ドル円もじり安となる中、140円台前半まで下落した。本日のドル円相場も、米CPI発表を控えてドル売り地合いに変化ないと予想する。前年比のCPIの予想はヘッドライン、コアいずれも減速の見通しとなっており、米金利もフラットニング。CPIの結果が出るまでは、ドル買いにくい状況だ。チャート上も、6月末をピークに勢いは削がれており、本日の注目水準は50日移動平均のある140円割れの水準を下抜けるかどうかだろう。月末には日銀政策決定会合を控え、YCC修正への警戒感もあることから、明確に下抜ければその後の地合いも軟調推移となりそうだ。

東京	141.31レベルで東京市場オープン、朝方つけた141.45が東京時間の高値に。公示仲値通過までは同水準で値持ちしたが、本邦投資家から大口の売りが持ち込まれるとドル/円は下落。下値では実需輸入勢の買いも入ったが、先週の内田副総裁の発言を受け、YCCの変動幅拡大を見込む向きからは売りが見られ、売り買い錯綜。14時過ぎに140.58の東京時間安値を付けた後、140.75レベルで欧州市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、140.75レベルでオープン。昨日からのドル売りが継続し140.18まで売られる。独7月ZEW景気期待指数が予想を下回りユーロに下落圧力が強まるとドルが反発し、結局140.39レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は141円台前半でスタート。注目の米6月CPI発表を翌日に控え、米のインフレ鈍化を警戒したドル売りが先行した事から、ドル円は軟調な展開となり、141円を割り込み、140.39でNYオープン。この日は経済指標発表が無く、米金利の動きを追随する展開。午前中に140.95まで値を戻す場面も見られたが、長続きせず、140円台半ばまで反落する。午後は先述の米6月CPIの発表待ちムードが強まり、140.40付近で方向感が出にくい推移が続き、140.38レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.10台丁度付近でスタート。独6月CPI(確報値)は予想と同じ数字となるものの、その後発表された独7月ZEW景気期待指数が予想より悪化した結果が嫌気され、じり安で推移し、1.0984レベルでNYオープン。午前中は独長期金利が上昇するのを横目に、買戻しが優勢となり反発する。午後ユーロ高の展開が続き、1.10台を回復し、1.1010まで値を上げる。その後は高値圏での小動きとなり、1.1010レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:原田・西